

平成 30 年度草津市食育推進懇話会 報告

1. 開催日時

平成31年2月20日 午後2時～午後4時

2. 実施内容

① 第3次草津市食育推進計画の概要説明

[参考資料](#)

② 食育にかかる新たな取組について話題提供

立命館大学 スポーツ健康科学部 教授 海老 久美子 氏より説明

- ・SDGs の考えに基づいた取り組み
- ・滋味を大切にする滋賀めしについて

③ 第3次草津市食育推進計画の取組について協議

(1) 食育推進計画の進捗と今年度の取組について説明 [参考資料](#)

(2) 食育チャレンジ事業について報告

SECOND HOUSE 草津店 山田 健太郎 店長より報告

(3) 平成31年度の取り組みについて協議(グループワーク)



【10月】



【11月】



【12月】

「食育チャレンジ事業」概要

誰もが生きがいをもち健やかで幸せに暮らせる健幸都市づくりに取り組むため、全市的に取り組みを進めている中で、市民一人ひとりが、健全な食生活を実践できる力を育むとともに、実践の環を広げ、食育を起点とした健幸づくりの推進を図ることを目的に実施します。

対象 草津市内の飲食店

実施期間 10月～12月

内容 草津市健幸都市宣言に賛同し、食育の推進に協力いただける飲食店を『食育チャレンジ店』として認定し、各飲食店において市と連携した食育推進活動を実践するものです。

【取り組み内容】

実施月	取り組み内容	
10月	野菜の摂取量の増加	【野菜+1皿運動強化月間】 野菜+1皿運動の実施 ・野菜+1皿の取り組みでBWA-TEKUポイント
11月	適切な食事バランスの普及	【糖尿病予防強化月間】 バランス食普及運動の実施 ・バランス食推進の取り組みでBWA-TEKUポイント
12月	3010運動+の実施 食品ロスの削減努力	【年末食品ロス削減強化月間】 3010運動+の推進 ・3010運動+の取り組みでBWA-TEKUポイント

参加事業所

15店舗（平成30年9月30日現在）

居酒屋 みっちゃん、近江牛 焼肉ホルモン・名物もつ鍋 李白、割烹 平、
cafe&diningbar CHICK、サガミ 草津店、セカンドハウス 草津店
ちゃんこ茶屋 三杉里、トラットリア ピウ リッコ、とり平本舗 南草津店、
八剣伝 草津店、道の駅 草津 グリーンプラザからすま レストラン ベジカフェ、
道の駅 草津 グリーンプラザからすま ロックベイ レストラン、麺屋 いち源
料亭 魚数、レイカディア食堂 だいず屋、

食育チャレンジ事業 参加店と取組内容

◆ 食育チャレンジ店一覧 16店舗

居酒屋みっちゃん、近江牛焼肉ホルモン・名物もつ鍋 李白、割烹 平、café&diningbar CHICK、サガミ 草津店、セカンドハウス 草津店、ちゃんこ茶屋 三杉里、トラットリア ピウ リッコ、とり平本舗 南草津店、八剣伝 草津駅前店、道の駅 草津 グリーンプラザからすま レストラン ベジカフェ、道の駅 草津 グリーンプラザからすま ロックベイ レストラン、麵屋 いち源、料亭 魚数、レイカディア食堂 だいず屋、和彩創宴 江州

◆ 食育チャレンジ取組内容

【10月の取組】野菜の摂取量の増加 野菜+1皿運動

- ・先着20名に1皿野菜を提供
- ・サラダや付け合わせ野菜をいつもより増しにして提供
- ・味噌汁の具を野菜の具沢山味噌汁にして提供 など



【11月の取組】適切な食事バランスの普及 主食・主菜・副菜

- ・(主食・主菜・副菜のそろった)バランスのよいランチの提供
- ・野菜増量の取組の継続し、バランスよい食事を提供
- ・食育バランスメニューの提供 など



【12月の取組】3010 運動+の推進 食品ロスの削減

- 食品ロス
 - ・3010 運動+や食べ残しを減らすPOPを置き声掛けを実施
 - ・廃棄される部分について低価格で提供 など
- 健康づくり
 - ・はじめにサラダや前菜を提供 など

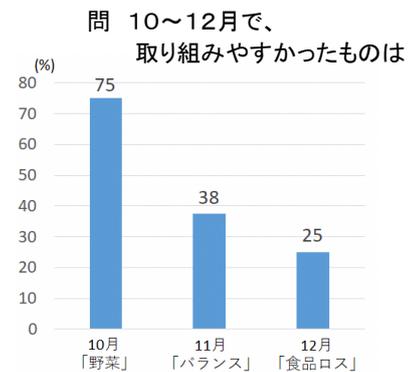


食育チャレンジ事業 結果

① 事業内容

② 取組の成果

- ・飲食店を通して、広く市民に対し食育の啓発をすることができた。
- ・飲食店に来る人だけでなく、スタッフの食育への意識の向上につながった。
- ・市と連携した取り組みにより、店のモチベーションの向上につながった。
- ・店とお客さんとのコミュニケーションツールの一つとなった。



③ 事業の課題

- ・飲食店が事業に参加したいと思ってもらえるよう魅力ある取組にする必要がある。
- ・飲食店ごとに、立地や営業時間、提供している食事内容、客層が異なり、取組内容に差異が生じる。
- ・食育チャレンジ事業や BIWA-TEKU の認知を広める必要がある。

市として目指すところ

飲食店を通して、より多くの市民へ働きかけを行いたい

市内多くの飲食店の参加を目指す

草津市食育推進懇話会にて グループワーク を実施

④ グループワークでの主な意見

■ 市内の多くの飲食店に参加していただくには

《いただいた意見》

- ・飲食店が取り組むことによるメリットを具体的に提示することが大切
- ・毎月テーマを変えるより取り組みを1つにして継続していく方がよい
- ・具体的な取組についての提案を行っていくことが必要

【来年度の方向性】

具体的なお店のメリットについてお伝えし、取組のしやすい継続が可能な具体的な取組を提案していく必要がある。

■ 食育チャレンジ事業について

《いただいた意見》

- ・食育と聞くと子どものイメージがある
- ・“チャレンジ”は飲食店に取り組みを強制しているように誤解される可能性もある
- ・参加した飲食店がどうして参加したのか、飲食店とどんな取り組みならできるのかりサーチが必要
- ・飲食店で可能な取り組みと市の目的を合わせる形での実施が望ましい

【来年度の方向性】

- ・わかりやすく、受け入れてもらいやすいネーミングを検討する
- ・協力いただく飲食店について再度検討し、できるだけ直接説明ができる機会を持ち、飲食店側の意向を確認しながら取組内容を協議していく。